

歌枕をたずねて

文学部国文学科 講師 板野 みずえ

玉村町の皆様、初めまして。4月より群馬県立女子大学文学部国文学科に専任講師として着任いたしました、板野みずえと申します。中世文学の担当で、自身の専門としては特に中世和歌を研究しております。

和歌にはよく詠まれる地名があり、これを「歌枕」と称します。有名どころだと、竜田、吉野、宇治、などなど……。かつては都が京都にあったこともあり、和歌に詠まれる地名もおおのずと畿内に集中するのですが、それ以外の土地に歌枕がないかというと、そうではありません。群馬の場合、伊香保・浅間山・赤城などの歌枕があり、「佐野の舟橋」という名所は現在も高崎市の南、烏川沿いの地域に「佐野」の名を残します。

出向いたことのない土地、話には聞いたことのない土地に憧れのようなものを抱くのは人の常であるらしく、歌人たちは繰り返し、見たこともない土地を歌に詠み込みました。

見たこともないのに、歌を詠めるのか？

不思議なことに和歌の世界ではそれが可能でした。

それは、膨大な数の和歌が蓄積されていく中で、この歌枕といたらこれ！ というイメージが固定していったためです（今でも、青森といたら林檎、とか吉野といたら桜、とかある程度共有される土地のイメージがあるかと思います）。その決まり事さえ知識として知っていれば、和歌に詠むことは可能だったので。

しかし、貴族の大半が特に関東や東北の歌枕を実見したことがないとしても、誰か最初に、その土地や景を目にして歌にした人がいるはず。着任に伴い群馬に引っ越してきて、和歌の上でしか知らなかった浅間山を実際に目にするようになり、そんなことをぼんやりと考えたりしています。

群馬にせっかく越してきたのですから、群馬の歌枕を詠み込んだ歌についてもまたじっくり考えねば、と思っていますが、そのときは実際にかつて歌枕があった土地にも足を運んでみたいと思います——その地を初めて歌に詠んだ人に思いを馳せながら。

住民自治のまちづくり

企画課
☎64-7711

令和2年度 協働によるまちづくり 提案事業 実施団体募集中

玉村町と協働して、地域の身近な課題を解決しようとする団体を募集します。役場内の各担当と事業内容や役割分担を相談して決めてから実行となります。

採用されると、こんなメリット(利点)が

- ①行政と協力関係であることがアピールできます！
- ②事業費として最大30万円の補助金が申請できます！
- ③団体の活動の宣伝にもなります！

募集事業

○自由提案事業 住民が考える地域課題とその解決に向けた行政との協働事業を募集します。

おおまかな応募要件

- 3人以上の住民で組織 ●1年以上の活動見込がある
- 営利目的・政治・宗教活動・暴力団関係でないこと

事業実施期間

令和2年4月～令和3年3月 ※提案事業の実施決定は3月議会議決を経てからになります。

応募期限

12月26日(木) ※企画課が窓口となって、役場内各担当と事業化に関する相談・協議を仲介します。初歩からの相談でも構いませんので、お気軽にご相談・ご応募ください。

応募先・問い合わせ

企画課 魅力発信係 ☎64-7711 メール kikaku@town.tamamura.lg.jp